

サービス業が大幅に改善！製造業と建設業は足踏み状態。

－ 2015年4月～6月期 中小企業景況調査報告書概要 －

日銀が7月1日に発表した6月の企業短期経済観測調査（短観）によると、企業の景況感を示す業況判断指数（D・I）は、大企業・製造業で前回3月調査（プラス12）から3ポイント改善しプラス15となっている。事前の予測では前回と同じレベルで推移すると思われていたが、個人消費の底入れ感が広がり業況感を押しあげた。大企業・非製造業のD・Iはプラス23と前回（プラス19）から4ポイント改善した。雇用・所得環境の改善を受けて個人消費に底入れ感が広がった。訪日外国人観光客の増加などを背に宿泊・飲食サービスなどが持ち直した。

中小企業・製造業では、前回3月調査（プラス1）より1ポイント悪化し±0となっている。非製造業は3月調査（プラス3）から1ポイント改善してプラス4となっており、2期連続で改善し消費税増税前の2014年3月以来の高水準となっている。3か月後の先行きの見通し（本年9月予測）は、大企業・製造業がプラス16と今期より1ポイント改善、大企業・非製造業はプラス21と2ポイントの悪化と予測。中小企業においては、製造業が今期と同じ±0、非製造業は3ポイント悪化しプラス1となっており、大企業よりも景況感を慎重に見ている企業が多い。

内閣府が7月21日に発表した7月の月例経済報告においては、国内景気の基調判断を「景気は、緩やかな回復基調が続いている。」と5月からの判断を据え置いている。ただ、生産に関しては「このところ一部に弱さがみられるものの、持ち直している。」

から「このところ横ばいとなっている。」に下方修正している。海外経済では中国に関する見方を3か月ぶりに下方修正し、先行きに関する基調判断でも、「海外景気の下振れ」が「中国経済をはじめとした海外景気の下振れ」に修正されている。

商工会地域の景況調査においては、今期（2015年4月～6月）の業況に関するD・I値は、マイナス幅が小さい順に、サービス業マイナス13.5、建設業マイナス22.8、製造業がマイナス36.7、小売業がマイナス45.0となっている。前期との比較では、サービス業がマイナス43.3から29.8ポイントと大幅に改善しマイナス13.5になり、小売業も7.5ポイント改善しマイナス45.0となっている。反対に、製造業は2.2ポイント悪化しマイナス36.7、建設業は3.7ポイント悪化しマイナス22.8となっている。来期（2015年7月～9月期）の業況予測については、今期と比べて小売業だけが7.5ポイント改善するとしているが、製造業は5.6ポイント、建設業は7.2ポイント悪化し、サービス業に至っては今期の反動が出て15.4ポイント悪化しマイナス28.9と予測している。

今期の商工会地域の景況感は、サービス業の改善には目を見張るものがあった。今後については、日銀短観等で指摘されている「雇用・所得環境の改善」等の影響が地方にも派生して、商工会地域でも改善の動きが定着することを期待する。

（中小企業診断士 橋本大輔）

業界天気動向図

項目	売上				採算（経常利益）				資金繰り			
	7 H 5 26 9 年 月	10 5 12 年 月	1 H 5 27 3 年 月	4 5 6 年 月	7 H 5 26 9 年 月	10 5 12 年 月	1 H 5 27 3 年 月	4 5 6 年 月	7 H 5 26 9 年 月	10 5 12 年 月	1 H 5 27 3 年 月	4 5 6 年 月
製造業												
建設業												
小売業												
サービス業												

各項目については次により表示した。

区分	増加	やや増加	横ばい	やや減少	減少	大幅に減少
	好転	やや好転		やや悪化	悪化	非常に悪化
D値(前年同期比)	20.1～	5.1～20.0	5.0～△5.0	△5.1～△20.0	△20.1～△35.0	△35.1～
表示	快晴	晴れ	曇り	小雨	雨	豪雨

今期直面している経営上の問題点需要の停滞

（数値の左は前期構成比、右は当期割合を%で記す）

製造業		1位		2位		3位				
1位にあげる問題点		需要の停滞		製品（加工）単価の低下、上昇難		製品ニーズの変化生産設備の不足・老朽化、原材料価格の上昇				
前期	今期	28.0	20.7	24.0	17.2	—		13.8		
建設業		1位		2位		3位				
1位にあげる問題点		熟練技術者の確保難		事業資金の借入難		請負単価の低下、上昇難、取引条件の悪化、従業員の確保難、官公需要の停滞、民間需要の停滞				
前期	今期	11.1	23.8	0.0	14.3	—		11.1		
小売業		1位		2位		3位		4位		
1位にあげる問題点		大型店・中型店の進出による競争の激化		買力の他地域への流出		消費者ニーズの変化、店舗の狭隘・老朽化		需要の停滞		
前期	今期	16.7	20.0	9.5	15.0	—		12.5	14.3	10.0
サービス業		1位		2位		3位		4位		
1位にあげる問題点		需要の停滞		店舗の狭隘・老朽化材料等仕入単価の増加		従業員の確保難		新規参入者の増加、利用者ニーズの変化等		
前期	今期	22.6	20.8	—		16.7	9.4	8.3	—	6.2